

2 時代認識

「地球時代」「成熟時代」「地方創造時代」といった従来からの時代認識(枠組み)を継続し、その基礎となる社会情勢について、状況変化を踏まえ、見直しました。

平成18(2006)年度
時代認識

平成19(2007)年度～平成27(2015)年度
主な状況変化

現在の時代認識



地球規模の動き
地球時代

- 地球環境問題の深刻化、顕在化
- 社会・経済活動のボーダレス化
- 広域的な交通ネットワークの整備
- IT社会の実現

- 長期的な地球温暖化の進行、越境汚染の顕在化
- 不況から景気回復へ転換
- 中国、東南アジア等の新興国市場の拡大
- 外国人観光客の増加
- 陸・海・空の交流基盤の整備
- 情報通信技術の急速な進化

地球時代

- 地球環境問題の深刻化、顕在化
- 社会・経済活動のボーダレス化、国際化の進展
- 広域的な交通ネットワークの整備・活用
- 情報通信技術の急速な進化



日本全体の社会の変化
成熟時代

- 人口減少時代の到来
- 多様な働き方・社会参画が実現する社会の到来
- 多様な価値観を持つ個人が共存する社会の到来

- 日本の人口が減少局面
- 女性就業の促進
- 大規模災害の多発
- インフラ老朽化の顕在化

成熟時代

- 人口減少を克服し、東京一極集中から脱却する社会構造の構築
- 多様な価値観を持つ個人が共存・参画する社会の到来
- 大規模災害やインフラ老朽化の対応



地方を取り巻く環境の変化
地方創造時代

- 自己決定・自己責任による自律した地域経営
- 持続可能な財政基盤の構築
- 文化の磁力の向上(ソフト・パワーの充実)
- 多様な主体による連携と協働
- 人口減少に対応した地域産業政策の展開

- 地方創生に向けた動きが活発化
- 北陸新幹線金沢開業(H27.3)、敦賀延伸工事着工(H24.6)、本県への注目の高まり
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定(H25.9)、スポーツへの関心の高まり
- 文化の概念が拡大
- NPO法人の増加、公益法人改革
- 財政運営の改善

地方創生時代

- 地方創生の幕開け
- 文化の継承・発展
- 多様な主体による連携と協働
- 持続可能な財政基盤の確立

県外・国外を視野に入れたさらなる発信・展開

人口減少対策の重要性

安全・安心のさらなる希求